



安全な飲み水に関するデータ概要

概要

安全な飲料水の不足は世界中で 6 人に 1 人を影響する問題であり、水関連の疾病は、人類の疾病と死亡の主な原因です。多くの国で、水の問題は、人々が貧困から抜け出せない主な理由となっています。女性や子供は非常に大きな負担を負い、家族やコミュニティーのために水汲みに 6 時間以上費やすこともしばしばです。でもまだ希望はあります。井戸の掘削や雨水収集など、水の問題に対しすでに証明されている解決策は存在するのです。適切な資金提供と、大勢の意思さえあれば、世界中で安全な飲み水を現実化することが可能です。

水問題の規模

世界で 110 億人の人々は安全な飲料水を手に入れることができません。これは、世界の人口の約 6 分の 1 に相当します。

発展途上国では、安全な飲料水の不足と、公衆衛生および個人の衛生状態の悪さが原因による疾病で、毎年 2200 万人が死亡しています。このうちの殆どが子供です。

過去 10 年において、下痢が原因で死亡した子供の数は、第二次世界大戦以降の紛争による死亡数を上回っています。

発展途上国の都市では、推定 25% の人々が業者から水道水よりも圧倒的に高い値段で水を購入しています。この額は家族の収入の 4 分の 1 以上に相当することもあります。

水の疾病

水による疾病（きれいな水源の不足と衛生不足による結果）は、インドの経済において年間 7300 万日分の労働口口に相当します。

世界の疾病のうち 20% を占める肺炎、下痢、結核、マラリアに対する研究資金は、公私における衛生研究の資金全体の 1% 以下だと推定されています。

地理

中国、インド、およびインドネシアでは、下痢性疾患による死亡者が HIV・AIDS による死亡者数の 2 倍です。

発展途上地域において一人当たりの水の消費量は、一日あたり約 2.64 ガロンです。英国における一人当たりの水の消費量は、一日あたり約 35・66 ガロンです。

1998年に、アフリカでは戦争による死亡者数が30万8千人だったのに対し、200万人（6倍以上）が下痢性疾患により死亡しています。

女性と子供

毎日6000人の子供が安全な飲料水の不足と、公衆衛生および個人の衛生状態の悪さが原因による疾病で死亡しています。これは、ジャンボジェット機20機分の墜落事故に相当します。

アフリカとアジアにおいて、女性が水汲みのために歩く距離は平均6キロです。